

2017年度プロジェクト活動報告：たるてつプロジェクト

■研究代表：金山智子 研究分担：平林真実

■研究概要

岐阜のローカル鉄道、駅、周辺地域をユニークなメディア空間としてとらえ、新しいインタラクションを実装させ、また、地域の文化という資産も織り交ぜながら、これまでにない表現を模索してきたメディア・地域・鉄道プロジェクト。その3年間のプロジェクト成果をさらに発展させることを目的としたのが本プロジェクト。樽見鉄道と連携し、企画から運営まで学生主導でクラブトレイン 2018 を実施した。内容に関しては、明和電機の土佐信道氏をゲストに迎えたライブ、オキュラスを用いた新たなメディア表現の実験など、新たな取り組みに挑戦した。こういった取り組みはこれまでとは異なる層の人たちの参加を促し、現実社会における需要を確認した。これまでの成果に関しては、地域活性学会で発表、また、地域活性研究において論文掲載が予定されている。





成果：

金山智子,平林真実「移動体メディアとしてのローカル鉄道の新しい活用実践」地域活性学会第9回研究大会（島根県浜田町）2017.9

金山智子「ローカル鉄道の新しい活用の可能性に関する事例研究」地域活性研究 Vol.9 (掲載予定)